

### 学内の分野横断的な活動の支援:「異分野融合研究形成支援プログラム」

研究力の強化と多様な人材の輩出に繋がる「学内共同研究の仕組みづくりや研究力強化に向けた取り組み」を支援する取組。



### 本事業のポイント

大阪大学の特徴を活かし、将来、世界を先導する可能性がある研究グループや、若手研究者による将来的に発展が期待できる研究グループ等の部局や分野横断的な活動を支援する取組。

支援対象経費は、国内外シンポジウム開催経費、会議費(学外者が参加する場合に限る)、旅費、事務局経費(人件費含む)等を対象とし、実際の研究費は対象としない。



### 取組実績と得られた成果

#### ●取組実績

- 阪大研究者が有する世界的にもユニークな専門性と設備をこれまで以上に有機的かつ効率的に連携させると共に、国内外の学術機関・民間企業と協力する枠組みを整える活動拠点とすべく、理学研究科附属フォアフロント研究センター内に「先端ミュオン科学による文理協力型新学術創出プロジェクト」を立ち上げた。
- 歯科治療時にドリルで削られる歯導音についてスパコンを用いた数値流体計算を行い、研究成果の一部を国際騒音制御工学会InterNoise2021、日本騒音制御工学会2021年秋季研究発表会、日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会にて発表した。

#### ●得られた成果

- 共同論文数51件、研究発表件数59件、競争的資金獲得17件(296,530千円)
- スイスPSI研究所とのミュオンX線分析共同研究を進めるにあたり、阪大から技術支援を提供し、スイスにおけるミュオンX線分析の立ち上げに成功した。これによりスイス側は約2億円の予算を獲得し、実施した共同実験に係る共著論文を準備している。

#### 類似プログラム(未来研究イニシアティブ、未来知創造プログラム、知の共創プログラム)のこれまでの展開等の例

- 日本学術振興会拠点形成事業「数理腫瘍学 国際研究ネットワークの構築」が採択され、米、仏、英の3か国の拠点機関と協力して、国際研究を展開した。
- 大阪大学数理・データ科学教育研究センターが発足した。東京大学医科学研究所、新領域創成科学研究科と協定を締結した。
- 科学研究費補助金 新学術領域研究等、大型研究プロジェクトの採択。